

教育研究所だより

守山市教育研究所発行

平成28年11月24日 No.201 所長 奥西 光彦
守山市勝部三丁目9番1号 (守山市生涯学習・教育支援センター 愛称:エルセンター3・4階)
E-mail kyoikukenyu@city.moriyama.lg.jp Tel 077-583-4217 Fax 077-583-4237
H P <http://www2.city.moriyama.lg.jp/moriyama-kyoikukenyu/>

「ほたるの住むまち ふるさと守山」をめざして —ほたるは守山の顔である—

守山市ほたるの森資料館
館長 中島 正一

「守山市ほたるの森資料館」は、市民運動公園内に平成2年(1990年)4月に開設されました。そして、平成18年(2006年)の4月からは「認定NPO法人びわこ豊穰の郷」が指定管理を受け、今年で11年目になりました。この「守山市ほたるの森資料館」ではホタルの生態、守山ボタルの歴史、故南喜市郎氏のホタルの研究成果などが閲覧できます。また、ホタルに関するさまざまな学習ができる施設でもあります。

ホタル研究者である故南喜市郎氏は明治29年(1896年)10月23日に守山市守山町(泉町)に生まれ、家業の醤油製造業の傍らホタルの人工飼育に取り組み、守山はゲンジボタルの群生地として広く知られていました。しかし戦後、高度成長期に環境汚染などの影響により、ホタルはほとんど見られなくなりました。

ゲンジボタルの幼虫は何を食べているのか分からなかった頃、故南氏が水路でカワニナの調査をしていると、ホタルの幼虫がカワニナを食べているのを発見しました。その後、室内での人工飼育に成功し、生態の調査研究を続けられた成果が今につながっています。

ゲンジボタルの一生は、幼虫から成虫に変化し、美しい光を放ち飛んでいる1週間から10日が寿命と言われていています。成虫は6月頃に水辺の苔などに卵を産みつけます。卵は約1ヶ月後に孵化して幼虫になり、水の中に入りカワニナなどのエサを食べながら約9ヶ月間、5~6回の脱皮を繰り返し、翌年の桜の咲く時期、雨の降った午後8時ごろに光ながら岸に這い上がり(上陸)ます。やわらかい土にもぐり土まゆをつくり、やがてさなぎになります。上陸してから約50日で成虫になり水辺を飛び回ります。

「守山市ほたるの森資料館」ではホタルの飼育・調査・研究および指導、市内の河川および学校や自治会へのホタルの放流指導、守山市民などにホタルの飼育講座の開催などの事業運営に努めています。

本年4月から館長に任命され、ホタルと一層の関わりを持つことができました。今後、ホタルに関することをより深く学んでいきたいと思っています。市内の河川にはホタルが飛び交う水辺環境を市民とともに、後世につなげていきたいものです。「ほたるの住むまち ふるさと守山」をめざし、ホタルと言えば守山、守山と言えばホタルと「ほたるは守山の顔である」をモットーに日々努めてまいります。

今年度の研究事業です。

指導力向上に関する研究 I

「算数・数学科におけるアクティブ・ラーニングや ICT を活用した授業の実践」

将来の予測が難しい社会の中でも、伝統や文化に立脚した広い視野をもち、志高く未来を創り出していくために必要な資質・能力を子どもたち一人ひとりに確実に育む学校教育の実現をめざすための基準となる学習指導要領等※の改訂に向けて、現在、その審議が行われています。その審議のまとめを受けて、今年度中に、中央教育審議会の答申および学習指導要領等の改訂が行われる予定です。そして、平成 30 年度から幼稚園、平成 32 年度から小学校、平成 33 年度から中学校で全面实施する計画で進められています。

(なお、平成 30 年度から小・中学校においては、先行実施の予定です)

その中で、「どのように学ぶか」に着目して、子どもたちの学びの質を上げていくためには、「学び」の本質として重要となる「主体的・対話的で深い学び」の実現をめざした「アクティブ・ラーニング」の視点から、授業改善の取り組みを活性化していくことが必要であることが謳われています。

本研究では、従来から行われてきた「問題解決学習」や「言語活動の充実」を発展させた「アクティブ・ラーニング」の視点を取り入れた授業研究をしていく必要があると考え、算数・数学科に焦点を絞って、研究協力員に研究授業に取り組んでいただくことなどをおして、その効果と課題について、研究を進めています。

学習指導要領等改訂のスケジュール予定

	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33
幼稚園								全面实施
小学校								先行実施 全面实施
中学校								先行実施 全面实施

アクティブ・ラーニングとは・・・

教員が一方向的な講義をするのではなく、子どもが能動的（アクティブ）に学習するための学習法の総称です。また、特定の型があるのではなく、発見学習・問題解決学習・体験学習・調査学習・グループ・ディスカッション・ディベート・グループワーク等がアクティブ・ラーニングの例として挙げられています。

※ 学習指導要領等・・・小・中学校は「学習指導要領」、幼稚園は「教育要領」